

せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL: 086-230-1315 岡山県生協連 検索

会員生協トピックス

岡山大学生協

受験生サポートの対応

岡山大学生協では例年、受験生の様々な不安を解消するために、生協学生委員会C.C.C!のメンバーを中心に、JR岡山駅・津島キャンパス・鹿田キャンパス内の道案内・受験生相談の対応を行っています。しかし2021年からは「新型コロナウイルス感染症予防」の観点から受験生相談に対応する学生スタッフもキャンパス内だけの相談に限定して活動してきました。

また以前は受験日当日に受験生の保護者向けの「受験時保護者説明会」も学内で実施していましたが、こちらも入構制限のため2021年からは開催を中止していました。

今年もまだまだコロナ禍の影響は続いています。受験生・保護者の不安や疑問に応えるために新型コロナウイルスの感染防止対策に配慮した上で、3年ぶりに「受験時保護者説明会」を学外会場で実施し、JR岡山駅での道案内や受験生相談を復活させる事になりました。

今後も合格発表後の新入生に対しても対面やオンラインでの「一人暮らしのお部屋探し」や「入学準備説明会」「新入生歓迎フェスティバル」などを実施し、より多くの受験生・新入生のサポートを強化していきたいと考えています。



就実生協

YouTube始めました!

2022年7月から、就実生協学生部seedSは、YouTubeチャンネルを始めました。組合員や新入生への情報発信や情報提供という真面目な内容でも、『YouTubeらしく』することで楽しく視聴してもらえるように企画・撮影・編集と頑張っています。

継続していくことで、生協紹介、活動紹介のアーカイブとしても活用できると考えています。

チャンネルは
こちら
↓



岡山県学校生協

エンジョイライフセミナーに41名ご参加いただきました

教職員などを組合員とする県学校生協では、組合員の皆さまに充実した退職後の暮らしに備えていただくため、教職員共済と合同でエンジョイライフセミナーを開催しました。

日時 11月26日(土) 10:00～12:20
会場 おかやま西川原プラザ 本館2階 第1会議室

将来への備え …… 人生100年時代をゆたかに暮らすために
知ることが安心 … 退職後の住まいを考える
日々の健康 …… 電解水素水整水器のご案内



おかやまコープ

岡大の社会実験「のこり福キャンペーン」に コープ東川原が参加

おかやまコープは、食品ロス削減の取り組みの一環として、岡山大学による社会実験「のこり福キャンペーン」に参加しました。

10月8日(土)～31日(月)まで、コープ東川原店内の農産・水産部門の売り場にライブカメラを設置し、夕方以降値引きになった商品の中継画像と画像内の商品名・価格・割引率等の情報を配信。販売をサポートすることで、商品の廃棄を減らすことを目的としました。

利用実績データに基づいて岡山大学がとりまとめる食品ロス削減に役立つ科学的知見を共有し、今後の取り組みについて協議を続けていきます。



ライブカメラが設置された水産コーナーで商品を選ぶ組合員

「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」 30,029筆を日本被団協へ提出



集まった署名を手にするおかやまコープ組合員理事

おかやまコープは、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が行う「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」に取り組み、集まった30,029筆を11月17日(木)、日本被団協に提出しました。

5月2日(月)から署名活動を開始し、学習会の開催や学習資料の発行、核廃絶と平和を願う取り組みとして「平和の学習会」、「平和のつどい」を開催するなど、署名の参加を呼び掛けてきました。

今後も「平和な未来を子どもたちに手渡したい」という願いを実現するため、平和への想いを語り合い、考え合う活動をすすめていきます。

三井造船生協

家庭会チャリティーバザーを開催、収益金は全額玉野市へ寄付します

11月26日（土）、42回目となる「三井生協家庭会チャリティーバザー」が、三井生協本部店3階特設会場にて開催されました。チャリティーバザーは1979年から開催しており、毎年、その収益金を玉野市に寄付し、社会福祉事業に役立てられています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で2020年、2021年と中止が続きましたが、感染予防対策を実施の上、3年ぶりの開催となりました。今年度は、三密回避のため、午前と午後の2回に分け、整理券を配布し一度に入れる人数を50人までとしました。



会場には、組合員の皆様の善意でご提供いただいた日用品や食器、衣料品などたくさんの品物が所せましと並びました。バザー品は、配達時に組合員さんからお預かりしたものもあります。また、家庭会のメンバーが値付けなどの準備を行いました。当日は、開始時間前から多くの方にお越しいただき、バザー品を購入して頂きました。参加者からは「コロナ対策を行い3年ぶりに開催されたのでうれしかった」との声が多くありました。

今年の収益金198,940円は、全額玉野市へ寄付します。

岡山医療生協

保健大会を開催しました

12月3日（土）に保健大会を開催しました。メイン会場のコムコム会館と各支部をリモートでつなぎ、70名が参加しました。

テーマは「すこしお生活ははじめませんか？」で呼びかけました。研修医と指導医による「すこしおクイズ」では参加者は笑いととも塩分について学びました。岡山協立病院院長の高橋先生や管理栄養士による塩分を控える秘訣のお話や、組合員・職員から募集したすこしおレシピ集など、職員・組合員協同で保健大会を盛り上げました。



グリーンコープ生協おかやま

「ゲノム編集トマト苗 小学校への無償配布について」 投票を呼びかけています

ゲノム編集トマト販売会社が、福祉施設・小学校へのゲノム編集トマト苗無償配布の計画を発表しました。子どもがゲノム編集食品を食べても大丈夫なの？家庭菜園や地域の農作物への影響はないの？現時点で市民はどう思うのか。声を投票で集めよう！と取り組んでいます。集まった声は自治体や小学校に「市民の声」として届けます。ぜひご参加ください♪



投票フォーム
<https://forms.gle/VbFffNx4rVhPkgtu8>



グリーンコープcafeを開催しました

グリーンコープのことがいろいろ分かる人気の企画。今年は県内6か所で順次開催しています。参加者は新しく加入された方からベテラン組合員まで幅広い参加があり、「ものがたり」がたくさん詰まったグリーンコープ商品の試食をしながら、ワイワイと情報交換をされながら、とても楽しく賑やかな時間を過ごされました♪



倉敷医療生協

倉敷市(玉島・中島地区)でゴミ回収のモデル事業

倉敷医療生協は、支部組合員が海に流れ込む川ごみの回収に取り組んでいます。「河川ごみ等回収・発生抑制モデル事業」(岡山県委託)の一環です。

(公財)水島地域環境再生財団と連携し、倉敷市玉島と中島の2つの地区で実証実験を行っています。

瀬戸内海に流入するごみの総量約4,500トン(年間)のうち、川から流れ込むごみは約3,000トンにも及びます。

玉島地区の回収活動では、10人が40分ほどで25kgものごみを回収することができました。

「もしこのごみそのまま海に流れ出たら…」などと話し合いながら活動を続けています。



短時間で驚くほど「大量のごみ」(10月31日・玉島)

こくみん共済 coop 岡山推進本部（岡山県労済生協）

まびいきいきプラザ防災イベント

10月22日（土）まびいきいきプラザで防災イベントが開催されました。「楽しく知って備えよう防災フェスティバル」をテーマに開催された当イベントでは、親子連れを中心に約100名の方に参加いただきました。こくみん共済 coop は「キッズぼうさい迷路」「VR災害体験」「防災クイズ」を実施しました。



VR災害体験の様子

「VR災害体験」では、火事・土砂崩れ・地震の疑似体験をしていただきました。体験していただいた方の中には、実際に災害が目の前に迫っているように感じて驚かれたり、災害の怖さを感じておられました。



防災クイズの様子

「キッズぼうさい迷路」では災害時に大切な避難方法を学んでいただくため、低い姿勢で迷路を体験していただきました。迷路はとても人気があり、何度も体験する子どもたちもいました。



防災迷路をゴールした子どもたちにマスキングテープのプレゼント

防災クイズに
チャレンジしてね！



こどもの成長応援プロジェクトイベント

こくみん共済 coop では子どもたちがすこやかに育ち、たすけあいの気持ちを未来につないでいける環境をつくる取り組みとして「こどもの成長応援プロジェクト」を行っています。

11月20日（日）に開催された八浜小学校での防災イベントで、参加された子どもたちになわとびをお渡ししました。



なわとびで遊ぶ様子



なわとびをお渡し

津山医療生協

映画「ぼけますから、よろしくお願いします」上映会

11月5日（土）、今年健康集会として、映画「ぼけますから、よろしくお願いします」をグリーンヒルズ津山リージョンセンターにて上映しました。監督自らのご両親の日常を撮影したこのドキュメンタリー映画では、認知症の母親のお世話のためこれまで家事をしたことのなかった父親が家事に奮闘する姿もありました。

100名近く来られた方の感想でも、「自身の介護体験を重ね合わせた」「これからの自分の姿かもしれない」などの意見が多く寄せられ、とても好評でした。



岡山県消費者団体連絡協議会、消費者ネットおかやまとともに

私たち市民・消費者のくらしをめぐるさまざまな問題に目を向け、安心して暮らせる社会のために消費者一人ひとりが考えることが大切です。岡山県消費者団体連絡協議会や適格消費者団体「消費者ネットおかやま」と協力しながら、消費者市民社会の構築に向けて取り組んでいます。

岡山県消費者団体連絡協議会



知っておきたい!

第35回岡山県消費者大会開催!

最新の消費者トラブルとインターネットの落とし穴~かしこい消費者になるために~

10月10日(月・祝)、第35回岡山県消費者大会がオンラインも活用して開催され、12団体、89人が参加しました。

記念講演「知っておきたい!最新の消費者トラブルとインターネットの落とし穴」では、一般社団法人ECネットワーク理事 原田由里さんより、多くの消費者トラブル事例と対処方法の紹介があり、「情報、広告・勧誘・サイトを見分けるセンスを磨き、すぐに行動せず客観視して考える癖をつけることが大切。被害防止には積極的な情報収集が必要」

、「知らないうちに被害者にも加害者にもなりうる」といったお話がありました。参加者からは「ネットの情報を全て嘘か本当か見極めるのは不可能。だからこそ知識を得て日々努力することが大事、改めてこうした学ぶ場の大切さを実感した」など、くらしの中で役立てたいという声が複数寄せられました。岡山県労働者福祉協議会、岡山県青年団協議会、岡山医療生活協同組合(写真左から)による活動報告も行われました。



★見逃し配信はこちら
(2023年1月末まで)



適格消費者団体 NPO法人消費者ネットおかやま

「見守り力アップ講座」を開催しています



2015年に全国13番目の適格消費者団体(全国に23団体)の認定を受けた消費者ネットおかやまは、消費者被害拡大防止を目的に、不当な契約、約款、広告表示に対して事業者へ直接、是正の申入れや差し止め請求を行っています。

また、岡山県委託事業「見守り力アップ講座」を開催し、高齢者等への特殊詐欺などの消費者被害防止の啓発を行っています。弁護士や司法書士、消費生活相談員の方を講師に、消費生活相談状況や相談事例、「被害にあったかも…」と思った時の対処法などを話します。自身や家族はもちろん、周りの人も消費者トラブルから守るための「見守り力」(異変に気づく、寄り添う気持ちで声掛けする、相談先につなぐ)を磨いてもらって、地域の見守り力の向上につながることをめざしています。



副知事との懇談、県行政との定期懇談会を開催

生協と行政の関係づくりに向けて、生協の取り組みを広める取り組みとして、年1回、副知事との懇談、県行政との懇談会を開催しています。今年は、コロナ禍で生協が果たしてきた役割などを伝え、県からコロナ対応への謝意や消費生活基本計画の取り組み状況を報告いただき、県民のために何ができるか一緒に考える機会となりました。

岡山県副知事との懇談

10月19日（水）県庁 特別会議室にて

岡山県から、小谷敦 副知事、くらし安全安心課 塩飽課長、松田総括参事、藤井副参事に出席いただき、県生協連から、平田会長理事、福井副会長理事、和田副会長理事、大同常務理事が出席し懇談しました。

コロナ禍で事業を通じた役立ち事例、生協の社会的取り組みなどを報告し、副知事からコロナ対応では医療生協をはじめ生協がライフラインとなり社会機能の維持に役割を果たしたことへの感謝の言葉があり、引き続き協力をお願いしたいとのお話がありました。また、コロナや物価高騰で、社会的弱者への影響はさらに増加し、生協は関心を寄せながら発信していきたいこと、電気代等の値上がりで想定外の事業経費増加となっていること、医療・移動・食の心配をしないで暮らせる地域社会となるよう生協の取り組みをすすめていきたいことなどを伝えました。また、2023年に岡山開催となる、中四国生協・行政合同会議への協力を快く受けていただきました。



小谷副知事(中央)との懇談は昨年に続き2回目

くらし安全安心課との定期懇談会

10月19日（水）県庁分庁舎 共用会議室にて

岡山県県民生活部くらし安全安心課 塩飽課長、松田総括参事、藤井副参事に出席いただき、県生協連からは、会長理事をはじめ8名出席し、定期懇談会を行いました。「第4次岡山県消費生活基本計画」など、県と生協の重点的な取り組みを交流、意見交換しました。

県から消費者被害防止の施策の取り組み状況報告、地域見守りを県民や各種団体と連携して進めたいことなどの報告がありました。生協からは、大学生協の学生への消費者被害啓発の取り組みや、計画は購買生協の取り組みとの重なりが多く、特にエシカル消費の普及・啓発を一緒にすすめてほしいこと、次期計画策定に組合員が関わることで計画の認知向上に貢献できること、この懇談を生協の社会的な取り組みを関連部署にも伝える機会としたいことなど、和やかな雰囲気の中で忌憚のない意見交換を行うことができました。



3医療生協へ、CO・OP彩果菜園を贈呈!

8月、岡山県生協連は、コロナ禍で医療・介護現場で日々がんばっている岡山医療生協、倉敷医療生協、津山医療生協の職員のみなさん2,516人に10,200本の「CO・OP彩果菜園」（1食分以上の野菜を原料にしている野菜果実ジュース）を贈りました。

県内の1日あたり感染者数は3,000人を超え、発熱外来は問い合わせが殺到しパンク状態、救急搬送困難事例も増加。各医療生協では出勤できない職員が急増し、部署を超えた応援や、保健所業務が移管したことによる業務過多など、現場は非常に厳しい状況が続きました。



岡山協立病院の発熱外来

- コロナ当初は「医療従事者を支えよう」と言っていたが、近ごろは発熱外来の予約ができず怒られることもあります。職員は精神的にきつい。今回の取り組みは、本当にうれしいです、元気が出ます。
(水島協同病院 亀山事務長)
- 医師は所長1人なので、他生協のみなさんに応援してもらって、みんなで協力しながら進めています。ありがとうございます。
(山田看護師長：右写真左上)



後日、各事業所のみなさんからたくさんの感謝状(写真は一例)が届きました。

岡山県生活協同組合連合会のみなさん
ジュースと激励をいただき
ありがとうございます!
水島協同病院職員一同

頂戴したジュースは翌日に各職場へ配布し、各所より喜びの声が届いています。引き続き拡大する地域の医療ニーズに対応して参ります。ありがとうございました。
2022年8月22日(月)

岡山県生協連の皆さまへ

この度は、温かいお心遣いを頂きましてありがとうございました。歯科でもコロナ感染の影響は色濃く、特に訪問診療では施設への訪問が中止になるなどの影響が出ています。そんな中ではありますが、感染対策には今まで以上に気をつけて、歯科でのクラスターは絶対に起こさない決意で毎日診療に取り組んでいます。頂いた気持ちをチカラに変えて、これからも奮闘していきます!

コープ倉田歯科一同

新型コロナ・生活困窮で困っている子どもと家族のために岡山県社協へ寄付

新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰の影響で、子どもやその家族を巡る生活課題が長期化し、貧困や格差の問題はより深刻となっています。岡山県生協連は、助け合いの組織として、深刻化している子どもと家族に対する生活課題解決のために、社会福祉協議会が地域住民や関係機関、団体と協力・連携して行う活動を応援したいと、岡山県社会福祉協議会に100万円を贈呈しました。

岡山県社会福祉協議会では、市町村社会福祉協議会に「新型コロナウイルス感染・生活困窮で困っている子どもと家族のための支援金」を募り、子ども食堂などで必要な食料や会場費などの費用に活用いただきます。



県生協連の平田会長理事(左)から県社協の足羽会長(右)へ寄付贈呈

「2022年度組合員活動交流集会」のご案内

今だから考えよう、食べること

情報にまどわされない「健康な食事」について、一緒に学びましょう。3生協による活動報告もあります。

日時 **2月15日(水) 10時~12時**
(終了予定)

参加方法 オンライン視聴 又は サテライト会場

基調講演

「知って納得、確かな栄養・健康情報をあなたに」

【講師】 東京大学大学院医学系研究科
社会予防疫学分野

佐々木 敏 教授



申込締切 **1月27日(金)**

お申込み
はこちら→



くわしくは、各生協へ。